



ヨシケイ開発(株)(静岡県)

家庭調理をリードする！
子育て世帯への「Lovyu(ラビュ)」登場



「Lovyu(ラビュ)」メニューブック

ヨシケイ開発(株)は夕食食材宅配市場約1500億円の6割のシェアを持つ。1975年創業、北海道から沖縄まで全都道府県に66社、282営業所で50万世帯に夕食食材の宅配サービスを提供するフランチャイズチェーンである。工場およびデポ(配送拠点)は大小あわせて全国に73カ所。林雅広社長は「まだまだ潜在ニーズはある」と、5月に満を持して「Lovyu(ラビュ)」を投入、20～30代の子育て世帯を掘り起こす。林雅広社長に夕食食材配達の現状とこれからを聞いた。

ヨシケイ本部の社長は自社と兼任

ヨシケイ本部の役員6名はフランチャイジーの社長が兼務しており、林社長も2014年の8代目社長就任以降は自社の(株)フードサポート四国(愛

媛・香川・高知でヨシケイを展開)と兼務のまま本部社長を引き受け、月～金曜日は静岡の本部、週末は松山の地元という生活を続けている。

ヨシケイは、創業から本部は献立開発とメニューブックを作成、それをフランチャイジーが購入して営業を展開するというビジネスで、営業は各企業のノウハウに負うところだ。しかし、創業から40年、時代は変わった。「競争相手はCVSやSMのネット販売、宅配サービス。セブンイレブンの宅配には脅威を感じている」(林社長)と、旧来型では生き残れないと危機感を感じ、林社長は顧客に供給する商品・サービスの強化や、新たな収益基盤の確立を背負って、経営環境の変化に迅速に対応してグループ変革させながら更なる成長に取り組んでいる。



林雅広 代表取締役



夕食食材宅配ビジネスの魅力

ヨシケイが創業して、2年後にヨシケイ開発が設立され、フランチャイズビジネスとして展開を始める。受注販売、ロスなし、代金は前納制で未収なし。経営者の悩みの種となる資金回転がうまくいくビジネス設計であったことから、あっという間に全国に広がった。また、全国約7300人の従業員はほとんどが女性正社員で、地域の女性に職場として歓迎され、勤続年数は永い。ヨシケイの顔である配達・営業は約4100人で、過去にはヨシケイレディーと呼ばれていたが、今はスマイルスタッフと呼ぶ。女性の正社員雇用であることから、全国で配達社員が約250人不足しているが、その逼迫度は他ほどではない。

安全安心の担保は 外部委託による年2回の工場監査

営業所のスタイルには営業所のみと、工場併設型の2パターンがある。工場はヨシケイ基準の巡回監査が年2回ある。フランチャイジーからの意見で客観的な監査の要望があり、委託による外部監査にした。監査は施設・設備、取扱食材、加工および配達スタッフの衛生管理が対象である。

最終的には家庭で加熱調理するという商品特性から、惣菜とは違った管理手法となる。ただ、最近の傾向としてカット野菜が増えてきており、「キットde楽」というカット野菜を取り入れた商品

も揃えた。いずれにしても、以前より衛生管理が厳しくなっていることは事実である。将来は、関東圏など土地の高い地域では本部運営の共同工場構想、その一部にカット野菜工場設置も改革の視野に入れている。

今後3年で1000億円を目指す

登録顧客は全国50万世帯で横ばいである。「全国展開と言いつつも、北海道は札幌とその周辺しかできていないなど、全地域をカバーしているとは言えない」(林社長)ことから、未開拓地、未開拓年齢層の深掘りが課題だ。FC全体の売上げは2015年度決算で年商800億円。今後3年で1000億円を目指す。

20年前に若い世帯をターゲットにした「プチママ」ブランド投入で変革を起こしたことがあった。価格訴求と調理を簡単にするために献立は2品構成で楽に調理できることが特長で、同時に月～金のフルで取ると値引きする制度を初めて導入した。それまでは1週間の内、1日でも2日だけでも使用可能という利用者の利便性を武器にしていたが、この時に初めて1週間ヨシケイに任せようというニーズがあったことに気づいたという。今は、この時のメインユーザーが40代になっている。





新商品「Lovyu (ラビュ)」で 革命起こす!

今年5月30日に、20～30代の働く若いママ向け新商品「Lovyu(ラビュ)」を出した。ヨシケイのイメージを変えたいと、献立作成・メニューブック作成の監修を志村なるみABCクッキングスタジオ創立者に依頼した。「Lovyu(ラビュ)」を購入した利用者からは「メニューブックを見ると献立を見て作りたくなる、作って楽しい、食べておいしい」と、いいことづくめの感想が届いている。「こんな調理の仕方があったんだ!」と、新たな調理法の発見に感動するという声も多い。まさに「Lovyu(ラビュ)」を家庭で調理することでABCクッキングに通っているようで、毎日の夕飯を作りながら調理も学べるとお得感満載なのである。この勢いで従来のヨシケイのイメージである信頼感はあるが古くさい…から、若い子育てママの「おしゃれで楽しい食卓」をリードしていく存在に脱皮することに手応えを感じている。

「食材の宅配が増えているのに、夕食食材の宅

配サービスが伸び悩んでいるのは、我々の努力不足。以前は届けに行ったときにお客様の声を聞いて商品開発をしていたが、今は7割が配達時は留守」(林社長)という環境の変化に、新たな手法による商品開発、東京発信でホームページを充実するなど、東京支社機能も強化している。

海外展開も含めて新規事業も考えられるが、まずは「Lovyu(ラビュ)」投入など夕食食材配達ビジネスをニーズ別に深掘りして、夕飯作りを支援していく。

ヨシケイ開発株

代表者：代表取締役 林 雅広

所在地：静岡県静岡市駿河区国吉田1-8-30

電話：054-263-8817

主要事業：献立の作成、メニューブックの制作、
商品開発

ホームページ：http://www.yoshikei-dvlp.co.jp/